

日本語の自然会話と ディスコース・ポライトネス理論

第39回NINJALチュートリアル



講師

宇佐美まゆみ

国立国語研究所 教授
(日本語教育研究領域)

東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授を経て、2016年から現職。専門は、言語社会心理学・日本語教育学(コミュニケーション教育)。

主な著書に、『日本語の自然会話分析—BTSJコーパスから見たコミュニケーションの解明—』(編著、2020b) くらしお出版、『自然会話分析への語用論的アプローチ—BTSJコーパスを利用して—』(編著、2020a) ひつじ書房、Usami, Mayumi(2002) “Discourse Politeness in Japanese Conversation: Some Implications for a Universal Theory of Politeness”, Hituzi Syobo.『言葉は社会を変えられる』(編著、1997)、『新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識』(共著、2004)、『心理学-学ぶということのメカニズム』(『増補改訂版 新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識』)(共著、2016)などがある。

講座概要

本講義では、日本語の自然会話の特徴とその分析方法、及び、ポライトネス理論とディスコース・ポライトネス理論について解説する。まず、現在、国立国語研究所で公開している『BTSJ日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声)2020年版』の特徴とその利用法について紹介する(オンラインからの利用申込みによって、無償で配布)。次に、本コーパスの分析に適した『総合的会話分析』という方法論について概説する。その上で、ポライトネス理論、及び、ポライトネスを構成する談話レベルの要素の機能も扱うディスコース・ポライトネス理論の最新の展開について解説する。これらを通して、日本語の自然会話の特徴とそれを分析する意義について考える。

開催概要

開催日時 令和3(2021)年2月20日(土)
10:00~16:00

会場 Web開催(Zoomを使用)

定員 100名(予定)
※応募者が定員を超えた場合には、大学院生の方を優先とします。

受講料 無料

受講対象 大学院レベルを対象としています。

申込方法

国立国語研究所ウェブサイト
からお申し込みください。



国立国語研究所チュートリアル

検索

申込締切 令和3(2021)年2月10日(水)
※定員に達し次第、募集を締切ることがあります。

《主催・問い合わせ先》

国立国語研究所 管理部 研究推進課

E-mail: ninjal-events@ninjal.ac.jp

TEL: 042-540-4353